

本朝神社考

林羅山著 一六三八年〜一六四五年? 先行するさま
ざまな文献に拠っているが、手力雄が一言主神という伝
承の出所は不明。

手力雄

神代卷。日ノ神入玉ヲニ天ノ石窟ニ一時。手力雄神。立ニ磐戸カクレタチ
ノ之側ニ。トワキニ日ノ神。以テニ御手ヲ一細開テニ磐戸ヲ一。窺之時ニ。ホソメニ
手力雄ノ神。則奉ニ承御手ヲ一。引而奉出。ヒキイダシタテマツル
神書抄曰。伊勢内宮ノ相殿ノ左ノ脇ニ。祭ルニ此ノ神ヲ一。此神
者。思兼ノ神ノ之子也。爲ニ春日ノ別社一。或云。一言主ノ
神。或云。戸隠シノ明神。皆是也。
或説曰。多力雄命。取テニ岩戸ヲ一抛ツレ空ニ。落テ在リニ信州戸隠
シニ。故ニ曰レル也。多力雄命ハ者。今ノ常州志津ノ明神也

註 鈴鹿文庫蔵の玉水屋北尾八兵衛の刊本画像が国
文学研究資料館の電子図書館に DOI

10. 20730/100113325 133 コマ目。『神道大系』二

十卷にも翻刻あり。